

「令和4年度病害虫発生予報第7号」の発表について

○向こう1か月の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 水稲では、斑点米カメムシ類の発生が、東北、南関東、北陸、東海、中国、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 豆類では、吸実性カメムシ類の発生が、近畿、中国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 野菜では、オオタバコガの発生が、北東北、東海、近畿、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 果樹では、果樹カメムシ類の発生が、北陸、東海、近畿、中国、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、水稲の紋枯病等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

国の病害虫発生予察情報及び都道府県病害虫防除所のリンク

参照URL:https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120104_yoho.html

気象

気象庁の向こう1か月の予報（9月1日付け）では、気温は全国的に高いと予想されています。降水量は西日本で平年並か多く、沖縄・奄美で多いと予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL:https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html（外部リンク）

水稻

水稻で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
水稻	トビイロウンカ	東海、四国	近畿、北九州
	斑点米カメムシ類	東北、南関東、北陸、東海、中国、四国、九州	北関東、甲信、近畿
	いもち病	東海	北海道、甲信、近畿、中国
	紋枯病	北関東、中国、北九州	南関東、近畿、四国、南九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・トビイロウンカの発生が、東海及び四国の一部の地域で多くなると予想されており、愛知県から注意報が発表されています。本虫の薬剤防除にあたっては、若齢幼虫期が防除適期となりますが、地域により成虫の飛来時期が異なるので、都道府県の発表する発生予察情報を参考に、地域の発生状況を把握しながら、タイミングをとらえた適切な防除を実施してください。

・斑点米カメムシ類の発生が、東北、南関東、北陸、東海、中国、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されており、本年は現時点で18道府県から延べ22件の注意報が発表されています。本虫類による被害の程度は、出穂期、水田への本虫類の侵入量、カメムシの発生種の構成等によって異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、水田の観察を行い、適期に防除を実施してください。

・紋枯病の発生が、北関東、中国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されており、長崎県から注意報が発表されています。本病は高温多湿条件で発生が助長されます。また、上位葉が発病すると減収に繋がるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、水田の観察を行い、本病の発生状況に応じて上位葉に進展しないように防除を実施してください。

・いもち病の発生が、東海の一部の地域で多くなると予想されています。今後、断続的な降雨がある場合には本病が急激に発生するおそれがあります。また、葉いもちの発生が多く、上位葉に葉いもちの病斑が見られる場合は、葉いもちから穂いもちへの移行が懸念されます。都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、水田の観察を行い、本病の発生状況に応じて穂いもちに進展しないように防除を実施してください。

なお、一部の薬剤に対して耐性菌が発生しているため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に効果的な薬剤による防除を実施してください。

・スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)が一部の地域で発生しています。来年の発生を抑えるため、収穫後の防除として、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、石灰窒素の散布や冬期の耕うん等による殺菌を実施してください。

なお、耕うん機などの農機具に付着した泥とともに、本貝が他のほ場へ拡散する事例が報告されています。農機具の泥はよく落としてから移動させるよう、心がけてください。

スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の被害防止対策について

参照URL:<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryoku2/sukumi/sukumi.html>

豆類

豆類で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
大豆	吸実性カメムシ類	近畿、中国、北九州	東北、関東、東海、南九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・吸実性カメムシ類の発生が、近畿、中国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されており、山口県から注意報が発表されています。本虫類の飛来状況は地域や園地により異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	アブラムシ類	四国	九州
	ハダニ類	南関東、四国、北九州	南東北、近畿、南九州
	炭そ病		関東、甲信、東海、四国、九州
きゅうり	アブラムシ類	近畿	中国
	褐斑病	北東北	近畿、四国
	べと病	北東北	南東北、近畿、中国
トマト	アブラムシ類	四国	中国
	灰色かび病	北東北	南東北
	葉かび病	南九州	中国
なす	ハダニ類	四国	関東、近畿
ねぎ	アザミウマ類	南関東	南東北、北関東、四国
アブラナ科全般	コナガ	北東北	近畿
作物共通	オオタバコガ	北東北、東海、近畿、四国、九州	北海道、関東、北陸
	シロイチモジヨトウ	南東北、関東、東海、四国、北九州	北陸、近畿
	ハスモンヨトウ	東海	東北、北関東、近畿、中国、四国、南九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

いちご

・ハダニ類の発生が、南関東、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されており、長崎県から注意報が発表されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

■ なす

・**ハダニ類**の発生が、四国の一部の地域で多くなると予想されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

■ ねぎ

・**アザミウマ類**の発生が、南関東の一部の地域で多くなると予想されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。本虫類は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

■ 作物共通

・**オオタバコガ**の発生が、北東北、東海、近畿、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。幼虫の成育が進むと薬剤の効果が低下し、また、幼虫が植物体に食入してからでは防除が困難となるため、ふ化してから食入する前の若齢幼虫期が防除適期になります。ほ場の観察をきめ細かく行い、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

・**シロイチモジヨトウ**の発生が、南東北、関東、東海、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。幼虫の成育が進むと薬剤の効果が低下するので、若齢幼虫期が防除適期になります。ほ場の観察をきめ細かく行い、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

・**ハスモンヨトウ**の発生が、東海の一部の地域で多くなると予想されています。幼虫の成育が進むと薬剤の効果が低下するので、若齢幼虫期が防除適期になります。ほ場の観察をきめ細かく行い、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

果樹・茶

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
かき	炭そ病	北陸	近畿、中国、四国
かんきつ	ハダニ類		東海、近畿、北九州
	かいよう病	東海、北九州	四国、南九州
	黒点病	東海	南九州
	そうか病	南九州	北九州
なし	シンクイムシ類	北関東	北東北、北九州
	ハダニ類	北東北、関東、北陸	中国
	黒星病	北陸	南東北、近畿
	黒斑病	近畿	北陸
りんご	ハダニ類	北東北、北陸	南東北
	斑点落葉病	北関東	東北
果樹全般	果樹カメムシ類	北陸、東海、近畿、中国、四国、北九州	北東北、関東、南九州
茶	カンザワハダニ	南関東、近畿、南九州	北九州
	炭そ病	南関東、東海、近畿	北九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

果樹全般

・**果樹カメムシ類**の発生が、北陸、東海、近畿、中国、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されており、本年は現時点で23都府県から延べ25件の注意報が発表されています。今後、当年世代（越冬世代以降の世代）を中心に、餌を求めて園地を移動するようになります。本年の越冬世代の発生が多かった地域では当年世代の発生量に注意が必要です。本虫類の飛来状況は地域や園地により異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。

かき

・**炭そ病**の発生が、北陸の一部の地域で多くなると予想されています。本病は多湿条件下で発生が助長され、特に秋期に降雨が多いと多発しやすくなります。秋期の発病果は落果せずに樹上に残り、他の果実への伝染源となるため、園内の観察をきめ細かく行い、り病果は早期に除去するとともに、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に薬剤散布を実施してください。

かんきつ

・**かいよう病**の発生が、東海及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。都道府県の発表する予察情報等を参考に、ほ場観察をきめ細かく行い、伝染源となるり病部の除去や防風ネットの設置等の防除を実施するとともに、食害により感染を助長するミカンハモグリガの防除を実施してください。

■ なし

・**ハダニ類**の発生が、北東北、関東及び北陸の一部の地域で多くなると予想されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

■ りんご

・**ハダニ類**の発生が、北東北及び北陸の一部の地域で多くなると予想されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

■ 茶

・**カンザワハダニ**の発生が、南関東、近畿及び南九州の一部の地域で多くなると予想されています。更新園や夏期に発生密度が低下しなかった等、本虫の多発が予想されるほ場では、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。

・**炭そ病**の発生が、南関東、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。本病は前茶期に発生したり病部が感染源となり、降雨により発生が助長されます。都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、園内の観察をきめ細かく行い、新芽生育期から防除を実施してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和4年8月10日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

発表はありません。

注)重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
8月12日	兵庫県	果樹全般	果樹カメムシ類
8月12日	兵庫県	アブラナ科野菜	ハイマダラノメイガ
8月16日	山形県	水稻	斑点米カメムシ類
8月18日	長崎県	いちご	ハダニ類
8月19日	山口県	大豆	吸実性カメムシ類
8月19日	愛知県	水稻	トビイロウンカ
8月22日	大分県	水稻	斑点米カメムシ類
8月23日	佐賀県	果樹全般	果樹カメムシ類
8月23日	宮崎県	水稻	斑点米カメムシ類
8月26日	和歌山県	果樹全般	果樹カメムシ類
8月30日	岐阜県	果樹全般	果樹カメムシ類
8月30日	長崎県	水稻	紋枯病
8月31日	福岡県	水稻	斑点米カメムシ類

注)警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
8月10日	徳島県	なす	タバコノミハムシ
8月16日	石川県	ねぎ	ネギハモグリバエB系統
8月19日	福岡県	もも	モモヒメヨコバイ (<i>Shingapora shinshana</i> (Matsumura))
8月26日	山口県	-	トマトキバガ
9月2日	広島県	-	トマトキバガ

注)各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発生消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

(地域)

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

(発生量(程度))

多い(高い)：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い(やや高い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない(やや低い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない(低い)：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

(平年値は過去10年間の平均)

(参考)今後の発表予定日

第8号:10月12日(水曜日)

第9号:11月9日(水曜日)

第10号:令和5年3月8日(水曜日)

(参考)これまでの発表

第1号:4月13日(水曜日)

第2号:5月11日(水曜日)

第3号:6月8日(水曜日)

第4号:7月6日(水曜日)

第5号:7月20日(水曜日)

第6号:8月10日(水曜日)

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

担当者：岡田、麻野、吉田

代表：03-3502-8111(内線4562)

ダイヤルイン：03-3502-3382